

1. 件名：高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する検討チームに関する面談（9）
2. 日時：令和5年5月8日（月）15：00～17：00
3. 場所：原子力規制庁8階会議室
4. 出席者（※一部テレビ会議システムにて参加）：

原子力規制庁

技術基盤グループ 技術基盤課 照井課長補佐

システム安全研究部門 小嶋上席技術研究調査官

皆川副主任技術研究調査官

原子力規制部 原子力規制企画課 藤森企画調査官、今田係員

審査グループ 実用炉審査部門 塚部上席安全審査官

東京電力ホールディングス株式会社※

原子力設備管理部 原子炉安全技術グループ チームリーダー 他1名

関西電力株式会社※

原子力事業本部 原子力安全・技術部門 安全・防災グループ マネジャー 他3名

東芝エネルギーシステムズ株式会社 原子力安全システム部※

三菱重工業株式会社※

原子力セグメント 軽水炉保全プロジェクト部 保全計画高度化グループ 主席技師

原子力エネルギー協議会 部長 他4名※

#### 5. 要旨：

- 原子力事業者等から、「設計の古さ」に関する原子力事業者等における取組について、及び安全性向上評価に関する原子力事業者における中長期的な評価の実施状況について、資料に基づき説明があった。
- 原子力規制庁から、次回の高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する検討チーム（以下「検討チーム」という。）においては制度移行に関する議論を中心に行うことを想定しており、本日説明いただいた「設計の古さ」に関する事業者の取組についてはそれ以降の検討チームにおいて紹介していただくことを想定している旨、伝達した。  
このため、次回検討チームにおいては、長期施設管理計画の記載案に関する検討状況について説明してもらうことを予定している旨、伝達した。
- 原子力事業者等から、伝達内容について了解した旨、及び次回の検討チームに向けて資料を整理する旨の回答があった。

#### 6. 配布資料

資料1 安全な長期運転に向けた経年劣化管理の取組（設計の経年化評価について）

資料2 安全性向上に関する中長期的な評価について